

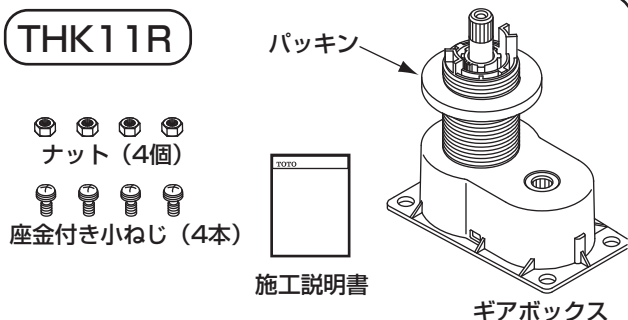
サーモギアボックス

THK11型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 部品の確認

THK11R



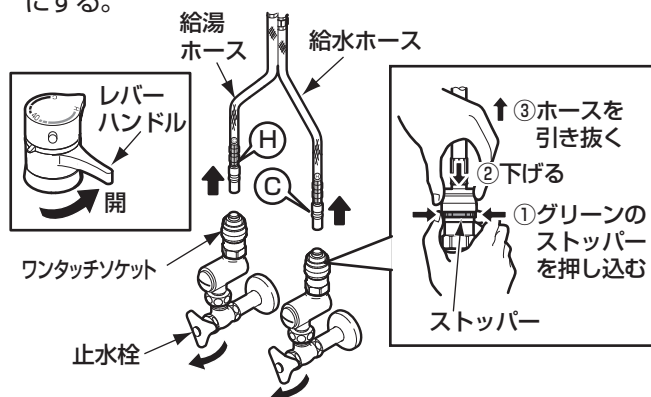
THK11-1



2-1 取替え方法

1 ホースの取外し

止水栓 (湯側・水側) を閉め、ワンタッチソケットからホースを外し、レバーハンドル (開閉ハンドル) を全開にする。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

2 ハンドル・水栓本体の取外し

温度調節ハンドルは40℃に設定しておいてください。

洗面化粧台の取付面よりハンドル・水栓本体を取り外す。

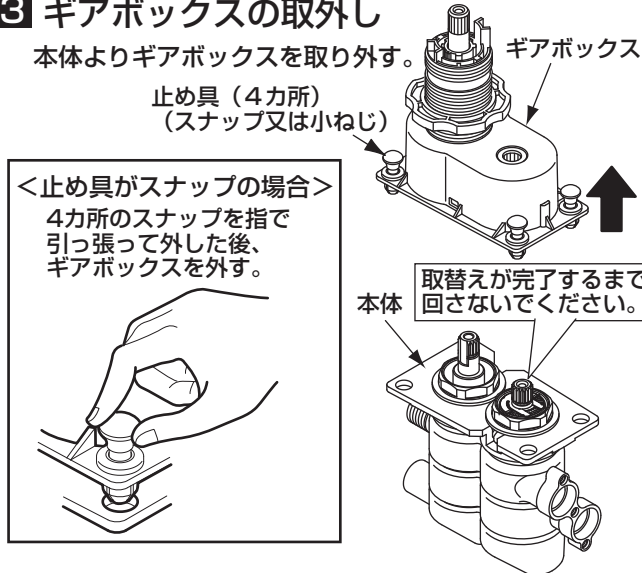
- ① インデックスの切り欠き部 (40目盛位置) にマイナスドライバーなどを差し込み、インデックスを取り外す。
- ② 裏ページ 6 7 と逆の手順でハンドル・本体を取り外す。

3 ギアボックスの取外し

本体よりギアボックスを取り外す。

止め具 (4カ所)
(スナップ又は小ねじ)

<止め具がスナップの場合>
4カ所のスナップを指で引っ張って外した後、ギアボックスを外す。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

4 スナップの取外し

(スナップを小ねじに取り替える場合)

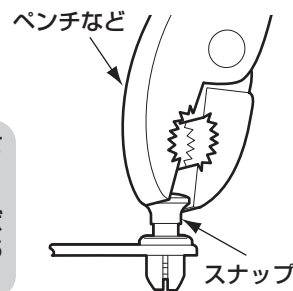
※THK11Rの場合 (ギアボックスも交換する場合)

は 5 へお進みください。

ペンチなどでスナップ頭部をつかみ、4本とも引っ張って取り外す。

- 前後左右に振ってガタつかせると、外しやすくなります。

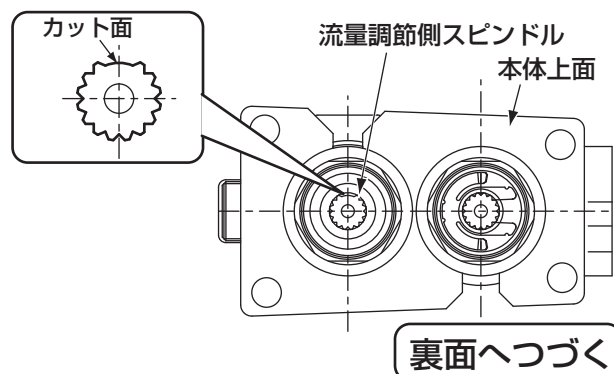
- 無理に引っ張ると、ギアボックスが破損するおそれがあります。



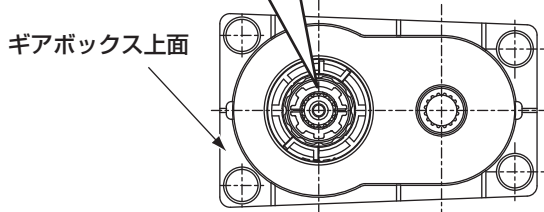
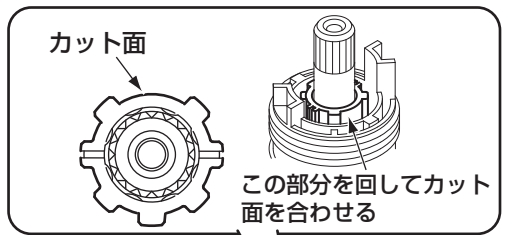
5 ギアボックスの取付け

止め具のみを取り替える場合は 4 で取り外したギアボックスを使用してください。

- ① 流量調節側スピンドルのカット面を図の方向に合わせる。



②ギアボックス上部のカット面を図の方向に合わせる。

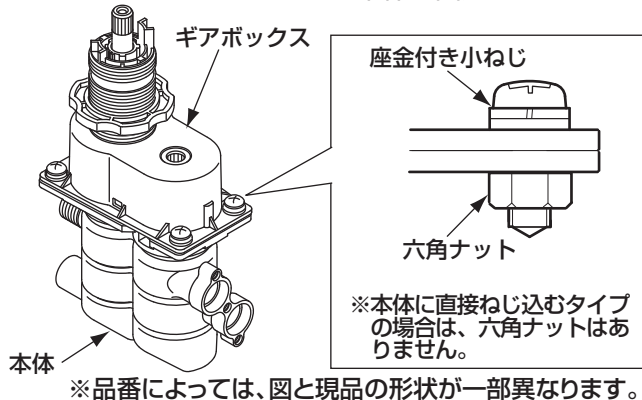


- ③上記①、②の状態を保持したまま、ギアボックスを本体に装着する。
※装着しにくい場合は、上記①、②を微調整してから再度装着してください。

注意

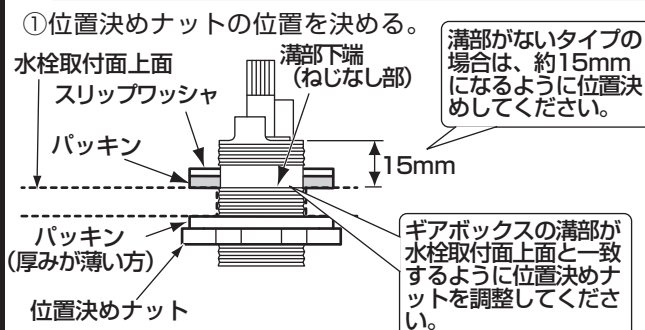
●ギアボックスを無理な力ではめ込まないでください。
スピンドルがうまくはまらず、水漏れのおそれがあります。

- ④ブラスドライバーを使用し、座金付き小ねじと六角ナットで、ギアボックスと本体を固定する。



6 水栓本体の取付け

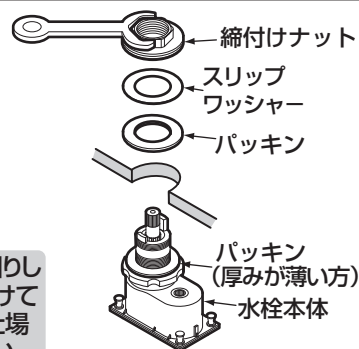
商品により施工方法は異なります。詳細は水栓に付属の「施工説明書」を参照の上、水栓取付面へ水栓を取り付けてください。



- ②水栓本体の向きに注意して下から挿入する。

- ③パッキン・スリップワッシャーを入れ、スパナなどの工具を使用して締付けナットを確実に締め付ける。

- 締付けナットは、本体が共回りしないよう注意して締め付けてください。本体が回転した場合は位置を戻してください。
- 締めすぎないように注意してください。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

7 ハンドル・ホースの取付け

商品により施工方法は異なります。詳細は水栓に付属の「施工説明書」を参照の上、ハンドルを取り付けてください。

- ①カバーを手締めにて締め付ける。
- ②開閉ハンドルを本体側のカット面に合わせて強く押し込む。
- ③ストッパーガイドのポイントが正面を向くように取り付ける。
- ④温度調節ハンドルの凸部がポイントの反対側を向くように取り付け、回転しないように手で押さえてねじで固定する。
- ⑤インデックスを取り付ける。
- ⑥給水・給湯ホースをまっすぐワンタッチソケットに力チツと音がするまで確実に差し込み、引張って外れないことを確認してください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

3

施工後の調節

- 止水栓を開き、接続部に水漏れがないか確認してください。
- 吐水温度が表示通りになっているか確かめてください。

尚、吐水温度が表示通りにならない場合は、温度調節ハンドルを設定し直してください。(詳しくは、水栓に同梱されている取扱説明書を参照してください。)

